

振り込め詐欺等被害未然防止事例

●事例1 (功労者) 親和銀行早岐支店 副支店長 中村 圭一さん 行員 阿比留 真智子さん

同銀行窓口で、男性が「〇〇万円当選しました。××円を国際郵便で送付してください」等と書かれた書類を所持し、海外への送金手続を申し込もうとしたため、同書類を見て不審に思った上記副支店長、行員が警察に通報し、被害の未然防止となったもの。

 **早岐警察署において署長感謝状贈呈**

●事例2 (功労者) 十八銀行国見支店 窓口職員 長田 美保子さん

同銀行窓口で、小切手を購入しようとした女性が「〇〇万円配当します。48時間以内に××円をクレジットカードか小切手で支払ってください」と書かれた書類を所持していたため、上記窓口職員が詐欺を疑い警察に通報し、被害の未然防止となったもの。

●事例3 (功労者) 長崎中央郵便局副部長

ゆうちょ銀行長崎支店窓口で振り込もうとした女性に対し、窓口職員が「振り込め詐欺ではないですか」と声を掛けたところ、女性が「わかりません」と答えたため、その旨連絡を受けた上記副部長が警察に通報し、有料サイト登録料名目の架空請求詐欺被害の未然防止となったもの。(ゆうちょ銀行では、振込みの依頼があった場合に「振り込め詐欺ではないですか」と聞くようにしている。)

●事例4 (功労者) 佐世保山祇簡易郵便局員

同郵便局窓口で現金を振り込もうとした男性が落ち着きのない様子であったため、上記局員が男性に声を掛けたところ、「外国の宝くじが当たった」等と答えたため、局員が詐欺を疑い警察に通報し、被害の未然防止となったもの。



皆さんの御協力で、振り込め詐欺等の被害を未然に防止することができました。御協力ありがとうございました！！
今後とも、積極的な声掛けをよろしく
お願いします。